

2015年6月23日 第72号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター

文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)

http://www.kvodo-center.jp mail: move@zenroren.gr.jp

国会会期延長に抗議の声広がる

憲法共同センター 緊急抗議行動「必ず廃案に」

憲法共同センターは22日夜、国会内で国会監視・抗議行動を行い、「戦争法案を必ず廃案に追い込もう」と抗議の声を上げました。日本共産党国会議員団が本会議終了後に駆けつけ、代表して志位委員長が「戦争法案は憲法違反だとはっきりし、法案も政府の答弁もぼろぼろです。戦争法案の帰すうを握っているのは国民世論です。圧倒的世論をつくり、廃案に追い込むために頑張りぬこう」と呼びかけました。

全労連抗議談話発表「総力をあげてたたかう決意」

全労連は自公が国会会期延長を決めたことに対し抗議談話を発表しました。(以下全文)

【談話】 国会の会期延長に強く反対する

報道によると、安倍首相と公明党の山口代表は本日、国会内で党首会談をおこない、今通常国会の会期を9月27日まで95日間延長する方針を決めたとされている。夕方の与野党幹事長・書記局長会談で野党に伝えたとあって、衆参両院の議長に会期延長を申し入れ、夜の衆院本会議で延長の議決を強行するというが、断じて容認できない。全労連は会期延長に強く反対する。

95日間の延長となれば、通常国会としては過去最長の延長幅となる。そのねらいは戦争法案(安全保障法案)を「確実に成立させるため」とされているが、戦争法案に対しては国民的な批判がひろがり、最近の世論調査では「反対」が5~6割に達し、「今国会での成立に反対」は8割にも及んでいる。国民世論に真っ向から挑戦するものであり、とうてい許されるものではない。

そもそも国会に会期があるのは、与党の恣意的な議会運営ややりすぎに歯止めをかけるため、法案の審議は会期中に終えなくてはならず、会期末にまだ審議中の法案は廃案にするという「会期不継続の原則」があるからである。

戦争法案の場合には、政府の説明の齟齬などで審議が度々中断したこともあって、与党自身が衆院通過の目安にしていた80時間程度という審議時間に遠く及ばない状況となっている。憲政の常道からいっても、いったん会期を閉じ廃案とすべきなのである。

全労連はあらためて、世論と共同のひろがりにも固く連帯し、最悪の違憲法案にほかならない戦争法案を廃案に追いこむために総力をあげてたたかう決意を表明する。労働者派遣法の大改悪法案など、暮らしを壊す悪法の成立を阻止するため全力をあげる。

安倍政権が世論を無視した強権的な姿勢を示せば示すほど、国民的な批判もまた力強くひろがっている。短時間の審議時間のなかでも戦争法案の危険性がより明瞭になり、「戦争反対！憲法と平和をまもれ」という声と行動が年代を問わず沸き起こり、政権そのものへの批判へと発展している。どちらに大義があるかはもはや明らかだ。

戦後70年の年に、憲法を壊し戦争する国に変えさせるわけにはいかない。戦争か平和か、強権国家か民主主義国家か、日本という国の形(あり方)の大本が問われている。今を生きるものの責任として、声をあげ行動することを、すべての人々に呼びかける。

2015年6月22日

全国労働組合総連合
事務局長 井上久

「戦争法案」廃案へ各団体が決意

全国革新懇特別決議「戦争法案阻止へ総力あげよう」

全国革新懇（平和・民主・革新の日本をめざす全国の会）は20日、第35回総会を東京都内で開きました。47都道府県から220人が参加。戦争法案をめぐる緊迫した情勢のなか、「戦争法案阻止へ総力あげよう」との決議をあげました。（以下全文）

（全国革新懇第35回総会特別決議）

国民的共同広げ、必ず戦争法案を阻止しよう

全国革新懇は、安倍内閣がねらう「戦争法案」を阻止するため、総力をあげてたたかうことを表明するとともに、「反対」の一点で国民的な共同を広げるところからよびかけます。

「戦争法案」は、いつでも、世界中どこでも、どんな戦争でも、日本がアメリカの戦争に参加できるようにするものです。集団的自衛権の行使にふみ切り、「戦闘地域」にまで出かけ、日本を「海外で戦争できる国」につくりかえる戦後最悪の法案で、明白な憲法違反です。これを阻止するたたかいは、日本の国のあり方、日本の命運を左右するものです。

国会論戦で政府は、従来の憲法解釈を一変させたため、支離滅裂な弁明を繰り返し、憲法違反の戦争立法であることがいよいよ明らかになっています。国民の反対の声は日増しに高まり、どの世論調査でも“今国会成立に反対”は国民の多数です。

しかし、安倍暴走政権は、今国会を大幅延長してでも、成立強行をねらっています。事態は、重大な局面を迎えています。

平和を愛するみなさんによびかけます。

——すべての地域・職場・青年革新懇、すべての賛同団体が、広範な人びととともに、全国津々浦々で、安倍政権に抗議し、「戦争法案」に反対する宣伝、署名、集会、街頭行動を無数にくりひろげましょう

——怒りの声と抗議、要請を安倍首相、自民、公明両党に集中しましょう

——あらゆる手段とつながりを生かし、「戦争法案の今国会成立阻止」の一点で一致するすべての個人、団体と思想・信条・党派のちがいをこえて、国民的な共同をひろげ、国会行動をはじめ多彩かつ機敏な行動を起こしていきましょう

「戦争する国」にしようとする企てを打ち砕くため、ともに立ち上がり、共同し、圧倒的多数の反対世論で安倍政権を包囲しましょう。

「戦争法案」を必ず阻止しましょう。

全国革新懇総会に参加したわたしたちは、その先頭にたつてたたかうことを宣言します。

2015年6月20日

平和・民主・革新の日本をめざす全国の会（全国革新懇）第35回総会

AALA 声明発表「総力を結集して反対運動を広げよう」

日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会（日本AALA）は19日、声明「戦争法案反対の声と運動を広げ、廃案に追い込もう」を発表しました。戦争法案は、AALA創立以来求めてきた憲法を生かす非核、中立の道を踏みはずすだけでなく、世界で進む平和と協力の共同体づくりの努力に反するものだと批判。総力を結集して反対運動を広げようと訴え、自民・公明両党への抗議文送付や集会、パレード、学習会などを各地でとりくむことを呼びかけました。

国会前座り込み 明日 24日は 15時半まで

戦争させない・9条壊すな！総がかり行動
戦争法案反対国会大包围

◆6月24日18:30~20:00

◆集合：国会図書館前 ◆主催：総がかり行動実行委員会

とめよう戦争法
集まろう国会へ